

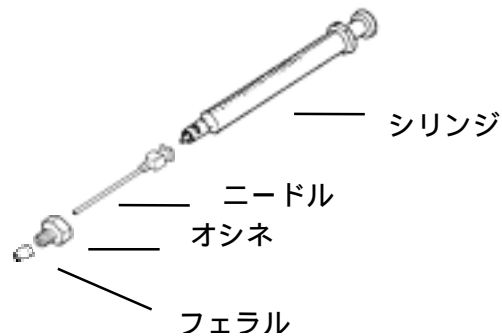
ポンプの呼び水操作

溶媒交換を行う場合や、大量の空気を吸引してしまった場合は、下記の方法で配管内の溶媒を交換してください。

(準備)

図のようにニードル (#16) にオシネとフェラルを取り付けたものを作成します。

シリンジ (品番 : 006453)	: 1 本	ニードル#16 (品番 : 006456)	: 1 本
オシネ (品番 : 006160)	: 1 個	フェラル (品番 : 016180)	: 1 個



(手順)

ポンプの吐出側チェック弁部のオシネ(A、B)を外し、そこから溶媒交換作業を行います。
左がサンプル側、右がリファレンス側のポンプになります。

準備したニードルを外した部分に取り付けます。

注射器を取り付け、ピストンを引き溶媒を吸引します。溶媒交換の場合は、最低でも 50ml 吸引します。配管内の空気を除去する場合は、空気が出なくなるまで吸引します。

ニードルを外し、元のように配管します。

同様に、もう一方のポンプの吐出側チェック弁部(AまたはB)を外し、溶媒を吸引します。
こちらは、5ml 程度で十分です。

ドレインバルブを開け、暫く送液します。

